

令和元年 11 月発行

広尾っ子応援団だより (No.14)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



「放課後読書等ふれあい広場」の活用を！！

10月1日（火）から広尾小学校で「放課後等ふれあい広場」（以下、ふれあい広場）を実施しています。

児童（4年生以上対象）には、安全・安心な放課後の新たな居場所として、地域・保護者の方には、子どもたちと触れ合いながら子育てや教育について語り合う場として活用していただきたいと思います。

なお、今月は図書館の協力で「読書に親しむ活動」や「算数パズル」を計画していますので、見学を兼ねてお気軽に参加いただきたいと思います。

① 読書に親しむ活動

11月21日（木）15：10～

図書館の協力を得て、読み聞かせや紙芝居などを予定しています。

② 算数パズル

11月26日（火）15：10～

ハノイの塔、魔法陣など大人も子どもも楽しめるパズルを紹介します。

※11月14日（木）は広尾小で研究会があるため「ふれあい広場」はお休みします。

【「ふれあい広場」の概要】

◎実施日時

火曜日、木曜日の週2回
広尾小学校が授業を行う日
14：30～16：00

事前申込みは必要ありませんが、児童の皆さんはお家の人に伝えてから参加してください。

◎実施場所

広尾小学校1階教室（職員玄関入って左、児童トイレ向かえの教室）

◎対象

小学校4年生以上、保護者・地域住民

◎子どもたちの活動

前半は読書・自学自習、後半は自発的な活動を原則としますが、月1～2回は図書館等の協力を得て運営者側から活動内容を提供する予定です。

◎地域住民・保護者の方へ

トランプやオセロ、おしゃべりなど子どもたちとの交流を楽しんで下さい。

広尾町CS報告会・教育講演会を開催

10月31日（金）

各学校の学校運営協議会長（広尾小：足立清洋氏、豊似小：大庭克彦氏、広尾中：大林勝則氏）がパネラーとなって、本年度の重点教育目標を目指した「熟議」の様子や「地域・家庭の方策」を紹介していただきました。報告会は南十勝PTA連合会、広尾町PTA連合会の研修会も兼ねており、学校や地域の実態を踏まえた学校運営協議会の取組に、100名を超える参加者で埋まった会場から拍手が起こりました。



【左から司会者、大林会長、大庭会長、足立会長】

【教育講演会 講師：株式会社ゆめかな代表取締役 ビジネスコーチ 石川 尚子 氏】

「そうじゃないでしょ」⇒「なるほど、そう思ったんだね」（否定から受容へ）

「なぜやらないの？」⇒「何から始める？」（否定質問から肯定質問へ）

「遅れないようにね」⇒「間に合わせようね」（否定的表現から肯定的表現へ）

「やったらできたね」⇒「やると思ってたよ」（youの主語からIの主語へ）

講演会で配られた資料の一部です。

最初から最後まで、「ハッ」と気付かされるのが連続する講演でした。

参加者からは「素晴らしい話だった。」

「受容の大切さが分かった。」という声が聞かれました。



「一つでも興味のあることを追究しなさいと教えてくれた小学校時代の先生は、確かに私の『コーチ』だった。」「私自身は『コーチ』だったと言えるだろうか。」
南十勝PTA 連合会長齊藤一也氏の閉会挨拶から

今後の予定

12月27日（金）19：00～ 演題「自己肯定感と地域とのかかわり」

講師 NPO法人地域生活支援ネットワークサロン 代表理事 日置 真世 氏

1月24日（金）19：00～ 演題「広尾っ子の自己肯定感をはぐくむために②」

講師 株式会社ゆめかな代表取締役 ビジネスコーチ 石川 尚子 氏

◎「開かれた学校づくり」が進んでいます！！ ～教職員アンケートの結果から～

10月、教育委員会では小中学校の教職員を対象にアンケートを実施しました。

これは広尾町にコミュニティ・スクールが導入される以前の平成30年4月に町民、教職員を対象に行ったものと同じです。

今回は教職員のみですが、前回と比較すると、下段のグラフに示した質問項目で明確な変化がありました。

これら以外にも「学校の授業では、地域の人から取材した内容が活かされている」「学校の教育に役立てることができる、地域にある素材や人材を豊富に知っている」など教育活動の充実に直接かわる項目で肯定的な回答が増えました。

今後、さらに分析を行いWEBページなどで詳細をお伝えします。

